

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月27日

計画の名称	神奈川県内におけるうるおいとやすらぎのある水辺づくり												
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	神奈川県												
計画の目標	きれいになりつつある水質を活かし、沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して、地域の歴史・文化・生活と密接に結び付いた魅力的な河川空間を生み出し、うるおいとやすらぎのある親水空間や防災機能の創出など人や自然にやさしい水辺づくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	940	A	940	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	・沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行う。(H30当初:4箇所→H34末:6箇所) 沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して整備する河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設数	4箇所	箇所	6箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市水環境整備事業	A14-001	都市水	一般	神奈川県	直接	神奈川県	統合河川環境(2)	—	大岡川統合河川環境整備事業	護岸 N=9箇所	横浜市	■	■	■	■	■	940	—	
													小計				940		
												合計						940	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	58	84	49		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	58	84	49		
前年度からの繰越額 (d)	12	36	53		
支払済額 (e)	34	67	47		
翌年度繰越額 (f)	36	53	55		
うち未契約繰越額(g)	3	7	8		
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	4.28	5.83	7.84		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 神奈川県内におけるうるおいとやすらぎのある水辺づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○